

子どもたちが調べる水辺の生き物

～第32期 長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」 調査報告書～

平成30年度版



長浜市水生生物少年少女調査隊『みずすまし』



第32集

目 次

■はじめに	1
-------	---

■長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」について	2
----------------------------	---

■各小学校の調査結果と活動内容

○長浜小学校からの報告	4
○長浜北小学校からの報告	8
○神照小学校からの報告	12
○南郷里小学校からの報告	16
○北郷里小学校からの報告	22
○長浜南小学校からの報告	26
○湯田小学校からの報告	30
○田根小学校からの報告	34
○浅井小学校からの報告	38
○びわ南小学校からの報告	42
○びわ北小学校からの報告	46
○虎姫小学校からの報告	50
○小谷小学校からの報告	54
○速水小学校からの報告	58
○朝日小学校からの報告	62
○富永小学校からの報告	66
○高月小学校からの報告	72
○古保利小学校からの報告	76
○七郷小学校からの報告	80
○杉野小学校からの報告	84
○高時小学校からの報告	88
○木之本小学校からの報告	92
○伊香具小学校からの報告	96
○余呉小中学校からの報告	100
○塩津小学校からの報告	104
○永原小学校からの報告	108

■平成30年度「みずすまし」資料編	112
○指導者研修会	113
○交流会	114
○川の生き物【きれいな水（水質階級Ⅰ）の指標生物】	118
【少しきたない水（水質階級Ⅱ）の指標生物】	120
【きたない水（水質階級Ⅲ）の指標生物】	122
【大変きたない水（水質階級Ⅳ）の指標生物】	124
○調査ポイント一覧	126

はじめに

昨年は、6月の地震をはじめ、集中豪雨、猛暑、台風等の多くの自然災害に見舞われた年でした。現在、地球は何十億年もかけて築いてきた生態系を失おうとしています。人々が一人ひとりこのことを真剣に考える時期に来ているのではないかと思います。

2015年9月に、気候変動対策や陸上生態系の保護などを含めた17の目標からなる「持続可能な開発目標」が国連で採択されました。その目標の中には「持続可能な開発のための教育（ESD）」を通して、全ての学習者が持続可能な開発を促進するために必要な知識や技能を習得できるようにすることが示されました。学校現場では2020年から始まる新しい学習指導要領においても、これからの社会の担い手である子どもたちが、その持続可能な社会の創り手となるようにするための教育が重要であることが述べられています。今後、持続可能な地域づくりにかかわる課題を見つけ、それを解決するために必要な能力を身につける等というESDの視点に立った教育が、日本全国で推進され、深められることを期待します。

さて、長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」は、昭和62年に、環境に関心を持ち身近な問題の解決に向けた地域づくりの将来のリーダーを育成することを目的に結成され、今年度で32年目を迎えました。当初は旧長浜市内の6校で行っていた取組も、現在では市内全小学校で調査・交流を行うようになりました。環境問題を考える糸口は様々ですが、琵琶湖を抱える滋賀県の子どもたちが身近な川の水を調査するという事は極めて大切に意義のある活動だと考えます。川にすむ水生生物を調査することで、自然に触れ、自然を感じ、自然に働きかけるなど五感を通した貴重な学習ができ、そのことが自然理解につながり、そして将来自分の環境に対する行動につながるESDの理念に合致した取組と考えます。

「平成30年度長浜市水生生物少年少女調査隊」は、前年度までの活動の成果を受け継ぎながら、各学校近隣河川の調査をし、8月に代表校による「交流会」を実施しました。昨年度は台風の為にできなかった交流会でしたが、2年ぶりに開催することができました。タブレットなど新しい教育機器を駆使して発表する学校も見られ、新鮮な気持ちで参加させていただくことができました。子どもたちは他の学校の子どもたちとも触れ合い、そして自分たちの身近な環境を捉え直すよい機会となったことと思います。

この度、「子どもたちが調べる水辺の生き物～第32期 長浜市水生生物調査隊「みずすまし」調査報告書～」をまとめることができました。多くの方に御高覧いただき、地域の水環境の現状を知っていただくとともに、環境問題に関心をもっていただければ幸甚です。また、今後とも子どもたちの活動に御理解と御支援を賜りたく存じます。

最後になりましたが、長浜市水生生物少年少女調査隊諸活動に対しまして、保護者・地域の皆様、水生生物調査指導の講師の皆様、長浜市環境保全課の皆様に御支援御協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

平成31年3月

長浜市水生生物少年少女調査隊指導者連絡会
代表 日比浅嗣

長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」について

私たちの住んでいる長浜市は、日本一大きな湖「琵琶湖」のほとりにあります。私たちは、琵琶湖から汲み上げられた水、地下水、伏流水などを毎日利用しています。

家のまわりや遊び場、学校への行き帰りの道ぞいには川が流れ、そのすべてが琵琶湖に通じています。川の水がきれいであることは、琵琶湖がきれいであることにもつながります。しかし、川の水が汚れていると、琵琶湖も汚れてしまいます。

私たちの暮らしと地域を流れる川、そして琵琶湖はとても密接な関係で結ばれています。川をきれいにするのも汚すのもそこに住む私たちの暮らし方しだいなのです。

■活動の目的

子どもたちが川で遊び、楽しみながら川の中にすむ生き物を調べることによって、川の実態を知り、環境を見る目を養い、身近な環境への関心を高め、環境づくり活動のリーダーを育成することが目的です。

■組織の概要

長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」は昭和62年に結成し、長浜市から河川の調査を受託しています。

毎年、市内小学校（今年度より義務教育学校を含む）の児童を対象に隊員を公募し、各校の同調査隊の指導教諭（長浜市水生生物少年少女調査隊指導者連絡会）が活動を指導しています。

平成19年度から浅井・びわ地域の小学校、平成23年度からは虎姫・湖北・高月・木之本・余呉・西浅井地域の小学校が新たに参画し、第32期目にあたる平成30年度は、26校516人の隊員と42人の教諭が長浜市内各地で河川の調査を行っています。

調査隊結成以来、平成30年度で延べ7,431人の児童が調査を実施しました。

■活動のねらい

子どもたちが自ら川に入り調査し、素直な目で川の実態を知ることで、川を汚さない行動や自然を大切に子どもたちを育てます。

また、これらの活動を広く知っていただくことにより、川を汚さない・自然を大切に行動が市民全体へと波及することをねらいとしています。

■活動の概要

川の中やそのまわりにはいろんな種類の生き物がすんでいます。川の汚れ具合によってその川にすむ生き物の種類が違います。きれいな川にはきれいな水を好む生き物が、汚れている川には汚れに強い生き物がすんでいます。

そこで、隊員たちは学区内の川に入って、そこにすんでいる生き物の種類や数を調べて、その川の汚れ具合を判定しています。

また、普段の生活や活動を通じて身近な環境について気づいたことや感じたことを「環境日記」につけています。

■第32期（平成30年度）活動内容・参加内容

1. 水生生物調査（詳しくは、4ページ以降）

学校ごとに学区内の河川の調査ポイントを調査しました。川の生き物の種類や数などを調べて川の汚れ具合の調査などを実施しました。

2. 長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」指導者研修会（詳しくは、113ページ）

日 時 平成30年5月10日（木）15：00～16：30

場 所 長浜南小学校

参加者 指導教諭16名

内 容 湖北野鳥センター植田潤主査による水生生物調査の指導の仕方や実際の採取方法について、実技を交えた研修会を行いました。

3. 長浜市水生生物少年少女調査隊「みずすまし」交流会（詳しくは、114ページ以降）

日 時 平成30年8月6日（月）9：30～12：00

場 所 湖北文化ホール（湖北町速水2745）

発表校 9校

参加者 隊員86名のほか、指導教諭・来賓等を含めて131名

内 容 各校の隊員が集い、学校ごとに前期の活動報告や隊員による自己紹介、調査報告などを発表しました。

4. 「子どもたちが調べる水辺の生き物」調査報告書の発行

以上（1.～3.）の活動結果等を取りまとめ、調査報告書（本書）として発行しました。